
ダイヴ

蒼山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ダイヴ

【Nコード】
N0242F

【作者名】
蒼山

【あらすじ】
壁を越える人。幾多の壁を乗り越え、そして、また新たな壁が目の前に迫る。

壁は、お前が生まれた瞬間から立ちほだかる。

そして死ぬまでお前の前にたちはだかる。

そして全ての壁を越えられた者はいない。

壁は常にお前を試す。

壁は常にお前を急^せかす。

時間制限を与えるのだ。

お前は焦り、壁を越えようと、もがき、苦しむ。

壁はお前に、諦めるよう言う。

無理をする事はない。

お前は良く頑張った。

もう、十分だ。

と、壁はお前にそう言うだろう。

罨だ。

信じてはならない。

壁はお前に諦めさせたいのだ。

この壁を越えるのは無理だと。

自分には超えられないのだと。

そう思わせたいのだ。

信じてはならない。

集中するのだ。

壁の囁きが耳に入らぬ程に、集中するのだ。

そしてお前は跳躍力を手に入れる。

壁を越えるための、跳躍力を。

壁は態度を変えるだろう。

超えられるものなら超えてみると、お前を挑発するだろう。

お前の集中を解き、失敗を促したいのだ。

聞いてはならない。

それさえも聞こえなくなるほどに、集中しろ。

今お前がそこに居るといふ事は、それだけお前は壁を越えて来たの

だ。

振り返ると、幾多の壁が見えるだろう。

そして視線を前に戻せば、新たな壁が、もうすぐそこまで迫っているだろう。

さあ、やれ。

やるのだ。

どんな手段を使っても、やるのだ。

いや、お前はやらなければならないのだ。

これはお前の義務だ。

自分のために、そして他人のために、義務を果たせ。

今こそ、新たな壁の向こう側へ。

壁の向こう側へ、身を投じるのだ。
ダイヴせよ

（後書き）

どうも、かなりお久しぶりです。 蒼山です。

もうネタが尽きてテキトーなもんしか書けません。

しかも十分足らずで書けてしまうという内容の薄さ……。
もうどうしようもありませんね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0242f/>

ダイヴ

2010年11月27日06時22分発行